

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	遷延性気漏予防に Sealants を用いた肺切除患者の後ろ向き観察研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2017年1月から2023年6月までの間に肺癌の解剖学的切除が行われ、術中気漏の修復に Sealants を用いた患者。
③概要	肺癌に対する区域切除は今後ますます積極的に行われていくであろうが、区域切除の懸念点の一つに気漏が挙げられる。Sealants による修復後の気漏成績を区域切除・肺葉切除と比較・検討する。
④申請番号	2024-0039
⑤研究の目的・意義	気漏修復に Sealants を用いた区域切除の気漏成績の解析。
⑥研究期間	倫理委員会での承認後、2029年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、画像検査結果、病理結果、手術記録を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、BMI、喫煙指数、併存症、合併症、ドレーン留置期間等）、呼吸機能、画像検査結果（間質性肺炎の有無、患側、腫瘍部位）、手術関連項目（癒着の有無、術式、郭清範囲、手術時間、出血量、気漏閉鎖の操作内容）病理検査結果（組織型）
⑨利用の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸循環外科学分野
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸循環外科学分野 医学部准教授・講師 小池 輝元
⑪お問い合わせ先	呼吸循環外科学分野 医局 清水 勇希 Tel: 025-227-2243 E-mail : su2sec@med.niigata-u.ac.jp